

紙の博物館 見学会を開催しました。

日時 2009年11月7日 午前11時
紙の博物館（東京都北区王子1-1-3 飛鳥山公園内）



「紙の博物館」は北区・王子 飛鳥山公園内にあります。王子は、わが国の洋紙産業の発祥の地であり、「紙の博物館」はそれを記念して昭和25年に設立されました。

記録材料として最も歴史の古い「紙」の歴史をたどることは、スーパーコンピュータにつながるさまざまなヒントを与えてくれるということで企画したものです。桜の名所の飛鳥山公園は、秋晴れのなか、紅葉が見事でした。

博物館では、紙の製造プロセスから、リサイクルまで、わかりやすく展示されています。また、企画展「手漉き和紙の今」が開催されていました。日本の心 2000年「和紙総鑑」という見本帳の完成に合わせて、昔ながらの製法を守り続けている手漉き和紙をはじめ、さまざまな色や技法でつくられた染紙、漉きこみ紙、千代紙などの模様紙や唐紙など、それぞれに特色のある和紙が展示されていました。和紙の歴史に触れると、紙というもっとも古い記録媒体を、日本人は独自の形で工芸にまで仕上げたことに、あらためて驚いてしまいました。



日本の心 2000年「和紙総鑑」

「和紙総鑑」には、現在日本で生産されている和紙1,070点が納められています。

2階の展示室は紙パルプの原料、製造工程、製品について展示。製造機械の実物、模型などが置いてあります。

4階の第3展示室では 世界の紙の歴史 さまざまな紙が展示されています。

今後も、こういった見学会を企画していきますので、ぜひご参加ください。

